

# 平成18年度「専修学校を活用した若者・自立挑戦支援事業」成果報告書

事業名	地元IT企業との連携によるOJTを伴ったネットワークエンジニア養成と就職サポートプログラムの研究開発		
法人名	学校法人古河コア学園		
学校名	古河テクノビジネス専門学校		
代表者	理事長 渡辺 幸久	担当者 連絡先	原田 圭二 TEL 0280-22-2411

## 1. 事業の概要

現在、大学・短大・専修学校等を卒業した後、心ならずもフリーター・無業者・ニート・早期離職等を選択する若者が増えている。若者にとって若年未就職者という状況から脱出して正規社員になりたい希望は持っていたとしても、学校を卒業した後では、何らかの契機(キッカケ)が無ければ正規社員になる事は困難な状況である。このような状況は、地元(茨城県西地域)も例外ではない。一方、若くて優秀な技術者であれば採用したいと考えている地元IT企業が増えてきている。その契機(キッカケ)・企業との橋渡し役として、ネットワークエンジニアを希望する若年未就職者・早期離職者・フリーター等を対象とした「OJTを伴ったネットワークエンジニア養成と就職サポート講座」(実証講座)を実施し、若者に職と希望を与え、地元IT技術者を定着させられるような教育プログラムを開発したいと考え、この事業を実施した。

若年(概ね30歳未満)未就職者・早期離職者・フリーター等を対象にして、地元IT企業・人材派遣企業と連携し、Linux等のオープンソースソフトウェア(OSS)によるネットワークエンジニア養成教育を実施後、OJT(有給)による実習訓練を行う内容の実証講座を実施した。その過程において、短期間(5ヶ月程度)でIT企業において通用するネットワークエンジニアへ育て上げ、未就職者から定職者への転換をサポートする教育プログラムを開発した。

また、実証講座においてグループウェア・eラーニングを活用した。

## 2. 事業の評価に関する項目

### ① 目的・重点事項の達成状況

#### ア. 就職サポートについて

・受講生8名に対して、5名が就職または就職内定した。

2名が都内IT企業を受験中であり、1名が就職活動中である。現在の所就職率は62.5%であるが、講座終了10日後の数字であり、今後100%を達成できると考える。

・IT企業に就職するという観点からは、県内IT企業に2名就職内定、都内IT企業に1名就職、2名が受験中であり、IT企業への志望率は62.5%であった。(その他に、1名が県内IT企業に就職内定したが、入社辞退し、ユーザ企業に就職内定した。)

#### イ. 講座修了状況について

・受講生8名中、講座を修了したのは5名であった。

途中退所した3名のうち2名は、途中で就職が決まった為であり、1名は講座の内容についていけずに途中退所した。

## ②事業により得られた成果

(1) 平成18年8月から平成19年3月までに実施委員会(4回)、ネットワークエンジニア教育分科会(4回)、就職サポート分科会(3回)、評価分科会(4回)を開催し、「地元IT企業との連携によるOJTを伴ったネットワークエンジニア養成と就職サポートプログラム」を開発した。

(2) 実証講座「OJTを伴ったネットワークエンジニア養成と就職サポート講座」の受講生(定員10名)を募集し、実証講座を平成18年10月30日から平成19年2月22日まで実施した。12名の応募があり、選抜試験により8名を選抜した。8名中3名は途中で退所した。(内2名は講座途中で就職したための退所。)8名中、IT企業に3名就職(または就職内定)し、ユーザ企業に2名就職(または就職内定)している。2名が都内IT企業に受験中であり、1名が就職活動中である。

(3) 実証講座において、主に自宅学習用にeラーニングのコンテンツを活用した。基本情報技術者試験および初級システムアドミニストレータ試験のコンテンツを活用し学習した。また、3名が平成19年4月の基本情報技術者試験(国家試験)、1名が初級システムアドミニストレータ試験(国家試験)に申込み済みであり、受験予定である。1名は既に初級システムアドミニストレータ試験(国家試験)を取得済みである。また、受講生・講師・専修学校・企業間のコミュニケーション手段としてグループウェア(ペンギンオフィス)を活用し、スムーズなコミュニケーションが実現できた。

(4) 特別講演(平成19年3月2日)・成果発表会(平成19年3月2日)を実施するとともに報告書を作成し、本事業の成果を関係者に発表した。また、新聞記事として2回、新聞告知(広告・情報コーナー等)として13回掲載された。

## ③今後の活用

本校「情報システム工学科」・「ITスペシャリスト専攻科」の学生を対象にして、カリキュラムに取り入れていきたい。

## ④次年度以降における課題・展開

### 1. 受講生募集について

今回、実証講座の定員10名に対して、12名が応募し、8名を選抜した。定員10名に対して3倍を超える程度の応募者を集めて、ネットワークエンジニアになりたいという強い意志を持った受講生を選抜し、講座を実施したい。

本校は、茨城県西部に位置しているが、北は栃木県、南は埼玉県に接し、埼玉県さいたま市まで電車で30分、栃木県小山市まで電車で15分という地理的条件を生かし、埼玉県さいたま市、栃木県小山市での募集を強化した方がよいと考えられる。

### 2. 就職先紹介について

今回の講座修了生の就職サポートとして、本校の職業紹介・協力企業への就職・協力企業からの就職先紹介を行った。今回のカリキュラムを生かした職種に就ける様に、都内IT企業、地元IT企業とのより良い関係を築けるような方策が必要である。

## 3. 事業の実施に関する項目

### ①カリキュラムの開発

本事業において、「OJTを伴ったネットワークエンジニア養成と就職サポートプログラム」に基づき、「ネットワークエンジニア教育」として「ネットワーク基礎」カリキュラム(92時間)・Linuxサーバ構築」カリキュラム(82時間)・「Webプログラミング」カリキュラム(106時間)を、就職力強化教育として「就職サポート」カリキュラム(90時間)を作成した。また、IT企業ごとの「OJT」カリキュラム(120時間)を作成した。

### ②実証講座

ア. 講座名 : 「OJTを伴ったネットワークエンジニア養成と就職サポート講座」

イ. 定員 : 10名

ウ. 期間 : 平成18年10月30日～平成19年3月2日

エ. 場所 : ㈱いばらきIT人材開発センター

オ. 受講生の属性・受講者数:

受講者は8名であり、属性は以下の通りである

No.	氏名	性別	年齢	居住地	就職状況	修了
1	MM	女	25	古河市	都内企業に就職	途中退所
2	SS	男	32	さいたま市	都内IT企業を受験中	修了
3	ST	男	26	筑西市	都内IT企業を受験中	修了
4	ET	男	24	結城市	都内IT企業に就職	途中退所
5	OY	男	21	古河市	県内IT企業に内定	修了
6	NK	男	20	岩舟町	古河市内企業に内定	途中退所
7	ST	男	34	古河市	就職活動中	修了

### ③事業の特色・工夫した点

- ・IT企業のプログラマ・SE・ネットワークエンジニアが講師を務めた。
- ・IT企業における15日間のOJTを課した。
- ・IT企業に見学に行き、その場(職場)で質疑応答を実施した。
- ・グループワークによるコミュニケーション能力の涵養を図った。
- ・社会保険労務士・キャリアコンサルタント・IT企業の役員による就職サポートを行った。
- ・茨城県地域労使就職支援機構・いばらき就職支援センター・ジョブカフェけんせい等の関係機関との連携を図った。
- ・ハローワークに出向き、IT関連の求人を検索した。